公表

事業所における自己評価結果

 事業所名
 放課後等デイサービス ぽっぷ
 公表日 R7 年 3 月 31日

		チェック項目	はい	いいえ・無回答	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0 · 1	・活動ごとにエリアを分けている (個別支援・集団活動・休憩スペースなど) ・仕切りを利用し、状況に応じて遊びの場を区切る ・収納スペースを工夫し、活動スペースを確保している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	3 · 1	・個別支援が必要な子どもには、落ち着いた環境で対応できるよう配慮している ・活動内容によって支援員の配置を変え、適切な支援ができるよう調整している	職員の人数配置において、更に充実させる必要があると感 じております。より多くのスタッフが関わることで、円滑 かつ安心して対応できる体制を整えていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0 · 1	・明確なエリア分けや視覚的な工夫を行っている ・掲示物や絵カードで分かりやすくしている ・物の配置を一定に保ち、見通しを持ちやすくしている ・子どもの身長に合わせた設計にしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、 こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2 · 1	・生活空間の清潔さ・快適さ (定期的な清掃・消毒の実施) ・子ども達の活動に合わせた空間づくり (遊び・学習・個別対応など)	・「清潔」という観点では、「玩具の消毒」 「布類の洗濯」の回数を増やしていきたいと 思っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められ る環境になっているか。	4	2 · 1	 個別対応ができる相談室がある 事務室でも必要に応じて、話を聞く場やクールダウンができるように環境設定を工夫している。 	・相談室の環境整備をさらに機能的にするため、追加の改善が必要だと考えています。
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1 · 1	職員全体で業務改善の課題を共有し、同じ考えでやって いくようにしている現場の意見を取り入れた具体的な改善をしている職員が役割分担している	
**	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	6	0 · 1	・モニタリングや送迎時、ラインでの連絡等 で聞いた保護者の声を大切にしている。	
業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につ なげているか。	7	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	3	2 · 2		保護者・利用者の意見を反映したり、外線策の具体的な計 画を職員全員で次の日までにはフィードバックしている。 長期休み中は難しい場合もあるので、その分の時間をスケ ジュールに組み込んでいく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0 • 2		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0 · 1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を 作成しているか。	6	0 · 1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任 者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0 · 1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が 行われているか。	6	0 · 1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0 · 1		
適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン の「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家 族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支 援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定さ れ、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0 · 1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0 · 2		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0 • 2		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課 後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0 · 1		

### ADMINIAL (知識的な対象性を対象が、そのでは、対象のでは、10mm (10mm)							
1			支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内				
2		20	容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている				
1			か。	6	0 • 1		
1							
1		21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の				
27		21	振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	_	0 0		
25				5	0 • 2		
25			ロカの古塔に閉して記録をレスマレを徴応し、古塔の検証、改美につ				
6 0.1		22					
23			なりているか。	6	0 • 1		
25 公置を利用し、税の公司担心を行っているか。							
************************************		22	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの				
### 20		23	必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。				
3.4 たりのことは関することの				7	0		
### 2017年 (2017年 (2017年 2017年 2017			th:==0.000 プリナードフェインの「4つの甘土活動」も複数の2.			集団活動と個別活動の組み合わせている。子ども	
201 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		24				1人ひとりのニーズに応じて、集団生活と個別活動	4つの基本活動とは何かを職員全員で確認しあ
25			合わせ(文援を行っ(いるか。	4	3.0	を柔軟に組み合わせている。	
2 ごとかが自己制作できるような技術の工が存在でいる。自己技育				7	3 0	選択時の提供(公園に行くか行かないか) 自己素相の	ラ物で物で指いてもなりにする。
本ののでは、			こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定				
25 か高級関連支援事業第6つテービス担当各会学や原保機関との合意に てのこともの状況を大理機にした場合に対しているか。 27 無効の信息に関しては国際を持つているか。 28 のでは関連に対しては関連に中華主張の意思によるものでは関連 29 のでは関連に対しては国際を持つできまっているか。 39 のでは関連に対しては国際を持つできまっているか。 39 のでは国際では関連に対しているか。 39 のでは国際に対しているが、 30 のでは、 30 のでは、 31 に対している。 31 に対している。 32 に対している。 33 のでは、 34 に対しているが、 35 のでは、 36 のでは、 36 のでは、 37 のでは、 37 のでは、 38 に対しているが、 38 に対している。 38 に対しているが、 38 に対しているが、 39 に対しているが、 30 のでは、 30 のでは、 3		25	をする力を育てるための支援を行っているか。				
20				5	2 • 0	にサポートしている。	
20							
2 地域の受債 医療 (生地医中医対反原機関的)、同意療法・保証、教育の配体機能と減多して支援を行う体育を増えているか。 1 5 0 - 2		26					
27 対域の構成 医原 (生)性性的 大原 機能制度 、			そのこともの状況をよく埋解した者が参画しているか。	6	0 • 1		
第四の時間機能と関係して、経験ですの支払、ことものというの 20				-	0 1		
第四の時間機能と関係して、経験ですの支払、ことものというの 20			地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教				
1		27					
28				5	0 • 2		
28			学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻				
切ぶげっているか。		28					
2				6	0.1		
### 29			9,1011 5 0 0 0 0 0	O	0.1	_	
29	関		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援				
### 20 1.16	係	29					連携できるよう準備中なので実行できるよう
30	機		FACTOR CITED CITED ENTREES CO. GOOD	0	1 • 6		にしていく。
30	関		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等				
### 2012	t5	30					
地域の児童発達支援センターとの運転を図り、必要等に応じてスー		30		_	2 2	/Distaty の 8 が見だ たんぱ (ため) (上板 ファッフ	
地域が魔型発生が振りから、皮膜に対してスーパーバイや間面に関係を受ける機会を設けているか。			73 6	5	0.5	保護有の布里があれば体制は全えている。	
1			地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー				
1		31					現在準備を進めているので、実行に移せるよ
32 放政後光度/ウラブや児童館との交流や、地域の他のこともと活動する	۲		TO THE WIND CONTRACTOR OF COURSE	1	4 -		うにいていく
3				1	1.5		ンにいていて。
# 機会があるか。 3 0・4	の			1	1.5		Jievievie,
33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		32		1	1.5		JIEVICUIX.
1 1・5	連	32					Sicorcore.
1 1・5	連	32					JEUTEUR.
34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	連		機会があるか。				JEUTEUX.
34 題について共通理解を持っているか。	連		機会があるか。				
34 題について共通理解を持っているか。	連		機会があるか。	3	0 · 4		参加できる職員が限られているのでさらに増
題について共通理解を持っているか。	連		機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	0 · 4		参加できる職員が限られているのでさらに増
35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム (ベアレント・トレーニング等) や家族等の参加できる研修の機会 で情報提供等を行っているか。	連	33	機会があるか。 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課	3	0 · 4		参加できる職員が限られているのでさらに増
35	連	33	機会があるか。 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課	3	0 · 4		参加できる職員が限られているのでさらに増
や情報提供等を行っているか。	連	33	機会があるか。 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0 · 4		参加できる職員が限られているのでさらに増
26 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 6 0・1	連	33	機会があるか。 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラ	3	0 · 4		参加できる職員が限られているのでさらに増
20 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	連	33	機会があるか。 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラ	3	0 · 4		参加できる職員が限られているのでさらに増
20 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	連	33	機会があるか。 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会	3 1 7	0·4 1·5		参加できる職員が限られているのでさらに増
Turanow	連	33	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3 1 7	0·4 1·5		参加できる職員が限られているのでさらに増
放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思 の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	連	33 34 35	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っ	3 1 7	0·4 1·5		参加できる職員が限られているのでさらに増
37	連	33 34 35	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っ	7	0 · 4		参加できる職員が限られているのでさらに増
家族の意向を確認する機会を設けているか。	連	33 34 35	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0 · 4		参加できる職員が限られているのでさらに増
38	連	33 34 35 36	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思	7	0 · 4		参加できる職員が限られているのでさらに増
38 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	連	33 34 35 36	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや	7	0 · 4		参加できる職員が限られているのでさらに増
38 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	連	33 34 35 36	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや	3 1 7 3	0 · 4 1 · 5 0 0 · 4		参加できる職員が限られているのでさらに増
保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 7 0 39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 6 0・1 保護者 40 公母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 0 3・4 保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対しているか。 0 3・4	連	33 34 35 36	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3 1 7 3	0 · 4 1 · 5 0 0 · 4		参加できる職員が限られているのでさらに増
39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要 な助言と支援を行っているか。	連	33 34 35 36 37	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、	3 1 7 3	0 · 4 1 · 5 0 0 · 4		参加できる職員が限られているのでさらに増
39 な助言と支援を行っているか。	連	33 34 35 36 37	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、	3 1 7 3 6 6	0 · 4 1 · 5 0 0 · 4 0 · 1		参加できる職員が限られているのでさらに増
39 な助言と支援を行っているか。	連	33 34 35 36 37	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、	3 1 7 3 6 6	0 · 4 1 · 5 0 0 · 4 0 · 1		参加できる職員が限られているのでさらに増
保護者 40	連	33 34 35 36 37	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3 1 7 3 6 6	0 · 4 1 · 5 0 0 · 4 0 · 1		参加できる職員が限られているのでさらに増
護者 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 0 3・4 保護者同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 の こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対しているか。 0 3・4 保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対して対しているか。	連	33 34 35 36 37	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3 1 7 3 6 6	0 · 4 1 · 5 0 0 · 4 0 · 1		参加できる職員が限られているのでさらに増
者 40 保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 0 3・4 保護者より希望があれば行うよう努めている。 説 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こともや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対しているか。 こともや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対して対しているか。 1	連携	33 34 35 36 37	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3 1 7 3 6	0 · 4 1 · 5 0 0 · 4 0 · 1 0 · 1		参加できる職員が限られているのでさらに増
こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対しているか。 (スクリンタ)	連携	33 34 35 36 37	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3 1 7 3 6	0 · 4 1 · 5 0 0 · 4 0 · 1 0 · 1		参加できる職員が限られているのでさらに増
の 0 3・4 保護者より希望があれば行うよう努めている。 説 明 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するととも に、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対 たしているか。 こ	連携	33 34 35 36 37	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム (ペアレント・トレーニング等) や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3 1 7 3 6	0 · 4 1 · 5 0 0 · 4 0 · 1 0 · 1		参加できる職員が限られているのでさらに増
の 3・4 保護者より希望があれば行うよう努めている。 説 日 2 ごどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こともや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対している。 1 に、こともや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対している。	連携	33 34 35 36 37 38	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3 1 7 3 6	0 · 4 1 · 5 0 0 · 4 0 · 1 0 · 1		参加できる職員が限られているのでさらに増
説 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するととも に、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対 は、ここともや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対	連携	33 34 35 36 37 38	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、	3 1 7 3 6	0 · 4 1 · 5 0 0 · 4 0 · 1 0 · 1		参加できる職員が限られているのでさらに増
明 41 に、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対	連携保護者へ	33 34 35 36 37 38	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、	3 1 7 3 6 6	0·4 1·5 0 0·4 0·1 0 0·1		参加できる職員が限られているのでさらに増やしていきたい。
70	連携保護者への	33 34 35 36 37 38	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3 1 7 3 6 6	0·4 1·5 0 0·4 0·1 0 0·1		参加できる職員が限られているのでさらに増やしていきたい。
7	連携保護者への説	33 34 35 36 37 38	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するととも	3 1 7 3 6 6	0·4 1·5 0 0·4 0·1 0 0·1		参加できる職員が限られているのでさらに増やしていきたい。
	連携 保護者への説明	33 34 35 36 37 38	機会があるか。 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3 1 7 3 6 6 7	0·4 1·5 0 0·4 0·1 0 1·1 0 1·1		参加できる職員が限られているのでさらに増やしていきたい。

				1	1	
		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによ				
	42	り、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対し				
		て発信しているか。	7	0	HPを作成し今年度から活用しています。	
-		Child CV-0% s		U	TPを作成しラ年度から活用しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。				
			7	0		
-				0		
		 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を				
	44	しているか。				
		O CVISII.	7	0		
-						
		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を 図っているか。				
	45				アレルギーの有無を保護者に確認し、表にま	
			2	2 • 3	とめている。	
		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染				
	10					
	46	症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発				
		生を想定した訓練を実施しているか。	6	0 • 1		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、				
	77	定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。				
			6	0 · 1		
					保護者に確認したり、子ども自身で服薬でき	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認して			るよう保護者と相談しながらサポートしてい	 専門的知識は特定の職員だけでなく、1人ひ
		いるか。	7	0	る。表にもまとめて共有している。	とりが知識を高めていけるようにする。
-				U	る。衣にもまとめて共有している。	こりが知識を向めていいるようにする。
		 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が				
非	49				アレルギーの有無を保護者に確認し、表にま	表をみるだけでなく、声に出したりして職員
常		されているか。	4	3 • 0	とめている。	間で意識できるよう引き続き連携していく。
時			•		200 20100	In Change CC Box 5 TC 1980CXED550 CC 1 CC
		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置				
等	50	を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。				
の		で時じる寺、女王自生が「ガビれた中で文族が刊われているか。	6	0 · 1		
対						
応		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計				
//-	51	画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。				
			6	0 · 1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検			しわけい。した次のしてすしは、ケーギロ	
	討をしているか。	討をしているか。		_	ヒヤリハットを資料としてまとめ、年に数回	
			6	0 • 1	会議を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をし			研修はもちろん、日々の振り返りでケースを	
		ているか。	5	0 · 2	もとに話し合いをしている。	
			5	0.7	むこに話し合いをしている。	
		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決				
	54	定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後				
		等デイサービス計画に記載しているか。	5	0 · 2		
			,	0 2	<u>l</u>	